

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	消防署 第3中隊		担当課長名	東浦 康孝
(※)第1期実施計画の事業名	消防車両管理事業		財務会計上の事業名	消防車両管理事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3021	1	財務会計上の短縮番号	5455
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第2節消防・救急救助体制の強化		
	項目	項目1消防体制の充実・強化・広域化		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会()
事業の目的(どのような結果を得るか)	火災等災害に対する迅速な対応
事業の対象(誰を、何を)	消防自動車、高規格救急車等
事業の手段・方法(どのように)	消防自動車、高規格救急車等の維持管理
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	消防組織法第6条

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		13,584		11,029		11,229		12,929		101.8%
主な内訳	燃料費	4,882		5,053		4,993		5,507		98.8%
	修繕料	7,611		4,789		4,731		5,976		98.8%
	設備保守点検委託料	235		602		619		619		102.8%
人件費(人・千円)		10.25	78,900	11.00	82,650	10.50	79,800	10.25	76,900	95.5%
内訳	正職員	10.00	78,000	10.25	79,950	10.00	78,000	10.00	76,000	97.6%
	再任用短時間勤務職員	0.25	900	0.75	2,700	0.50	1,800	0.25	900	66.7%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		92,484		93,679		91,029		89,829		97.2%
財源	国・府支出金	0		0		0		0		-
	地方債	0		0		0		0		-
	その他財源	0		30		0		0		0.0%
	うち受益者負担 B	0		0		0		0		-
	一般財源 C	92,484		93,679		91,029		89,829		97.2%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		受益者負担がないため								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他()
上記の内容	車両の保守点検業務
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	消防組織法第6条により市が行う事業のため

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値					
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)					
☆	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	消防車両の維持管理	台	25	25	26	27	26	26					
										<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果				
										<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果				
										<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果				
成果の達成状況			<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない											
選択の理由			災害即応体制継続のための車両維持管理ができた。											
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)											
	事業は効率的に実施できているか		<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)											
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)			法定点検等の他に、毎日の運行前点検、週期特別点検の実施により、災害即応体制の継続が効率的にできたが、車両の使用頻度に比例して費用が増加している現状を考えると、日常管理の徹底が必要となる。											

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	災害即応体制継続のため、車両の維持管理は必要不可欠であるが、車両の使用頻度に比例して費用が増加している現状を考えると、より細やかな日常管理の徹底による費用の抑制が必要である。	
現在抱える課題とその対策	課 題	車両の使用頻度に比例して費用が増加している。
	対 策	より細やかな日常管理の徹底による費用の抑制が必要。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	災害即応体制継続のため、車両の維持管理は必要不可欠であるが、車両の使用頻度に比例して費用が増加している現状を考えると、より細やかな日常管理の徹底による費用の抑制が必要である。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	消防署第1中隊		担当課長名	宮本純二	
(※)第1期実施計画の事業名	通信機器管理事業		財務会計上の事業名	通信機器管理事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3021	2	財務会計上の短縮番号	5460	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第2節消防・救急救助体制の強化			
	項目	項目1消防体制の充実・強化・広域化			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	迅速、的確かつ効果的な防災活動を行う。		
事業の対象(誰を、何を)	消防指令センター(車載無線含む)		
事業の手段・方法(どのように)	通信機器の維持管理、及び更新(平成26年度に豊中市と共同で消防指令センターを整備する)		
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度~平成 年度)		
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度		
※根拠法とその条項	消防組織法第6、8条		

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		29,809		26,576		15,895		37,905		59.8%
主な内訳	設備保守点検委託料	10,306		10,306		10,601		0		102.9%
	機器借上料	12,915		6,878		0		0		0.0%
	負担金	26		26		26		36,827		100.0%
人件費(人・千円)		9.30	72,540	9.95	77,610	9.15	71,370	8.00	60,800	92.0%
内訳	正職員	9.30	72,540	9.95	77,610	9.15	71,370	8.00	60,800	92.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		102,349		104,186		87,265		98,705		83.8%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	102,349		104,186		87,265		98,705		83.8%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		受益者負担がないため								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済	<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済	<input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減	<input type="checkbox"/> サービス向上	<input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他(外部の専門的知識の活用)
上記の内容	設備の保守点検業務		
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能	<input checked="" type="checkbox"/> 不可能	
可能な場合:導入可能な業務			
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減	<input type="checkbox"/> サービス向上	<input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容			
不可能の場合:選択の理由	設備の保守点検業務以外は、消防組織法(第6条)により、市が当該市の区域における消防を十分に果たすべき責任を有しているため。		

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)	
指標値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	消防指令センターの維持管理	施設	1	1	1	1	1
	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	消防指令センターを整備(更新)	施設			1		1
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	119番受信件数	件	7,674	7,623	7,299	7,532	-
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		消防指令センター(車載無線含む)の維持管理、及び豊中市と共同で消防指令センターの整備(更新)を計画どおり実施できたため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		成果指標である消防指令センターの維持管理、及び豊中市と共同で消防指令センターの整備(更新)も計画どおり実施でき一定の効果が得られた。効率性については消防指令センターを2市共同で整備したことにより整備費用の削減が図れた。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度~平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成26年度	<input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	豊中市と共同で消防指令センターの整備(更新)を実施	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	豊中市と消防指令業務の共同運用を開始(平成27年4月1日より)	
現在抱える課題とその対策	課 題	負担金の発生
	対 策	平成27年度以降、高額の負担金(豊中市に支出)が発生するが、共同運用することにより事業総額で経費の削減を図っている。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	平成27年度より池田市、豊中市消防指令業務共同運用を開始し、消防指令センターの維持管理は基より、共同運用した成果物として豊中市との消防応援体制の更なる迅速化により消防力を強化し、市民の安全、安心を図る。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	消防署第1中隊		担当課長名	宮本純二	
(※)第1期実施計画の事業名	消防水利管理事業		財務会計上の事業名	水利管理事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3021	3	財務会計上の短縮番号	5465	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第2節消防・救急救助体制の強化			
	項目	項目1消防体制の充実・強化・広域化			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	消防活動が迅速に対応できるようにする。
事業の対象(誰を、何を)	消火栓
事業の手段・方法(どのように)	消火栓の点検、維持管理を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	消防法第20条第2項

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		2,900		2,896		2,892		2,892		99.9%
主な内訳	水道企業会計繰出金	2,900		2,896		2,892		2,892		99.9%
										-
人件費(人・千円)		10.25	78,900	11.00	82,650	10.50	79,800	10.25	76,900	95.5%
内訳	正職員	10.00	78,000	10.25	79,950	10.00	78,000	10.00	76,000	97.6%
	再任用短時間勤務職員	0.25	900	0.75	2,700	0.50	1,800	0.25	900	66.7%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		81,800		85,546		82,692		79,792		96.7%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	81,800		85,546		82,692		79,792		96.7%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		受益者負担がないため								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	消防法(第20条第2項)により、消防に必要な水利施設は、当該市がこれを設置し、維持し及び管理しなければならないため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H27)
☆	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	消火栓維持管理	基	1,450	1,448	1,446	1,446	—
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		消火栓として良好な状態で維持管理できているため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		活動指標である消火栓の維持管理は良好な状態である。効率性においても1基あたりの繰出金単価の増加もなく推移している。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成26年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	消防活動が迅速に対応できるように消火栓の維持管理を行う。	
現在抱える課題とその対策	課 題	消火栓の維持管理は良好な状態であり、課題はない。
	対 策	現状を維持する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	消防活動の根幹となる消火栓の維持管理をおこない、消防力を維持し、市民の安全、安心に努める。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	消防署 第3中隊		担当課長名	東浦 康孝
(※)第1期実施計画の事業名	消防活動事業		財務会計上の事業名	消防活動事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3021	4	財務会計上の短縮番号	5470
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第2節消防・救急救助体制の強化		
	項目	項目1消防体制の充実・強化・広域化		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会()
事業の目的(どのような結果を得るか)	消防活動能力の強化
事業の対象(誰を、何を)	消防隊員
事業の手段・方法(どのように)	消防活動の基本となる消防資機材及び個人装備の充実
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	消防組織法第6条

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25				
事業費(千円)		3,422	3,590	6,452	5,333	179.7%				
主な内訳	消耗品費	564	627	3,506	1,750	559.2%				
	通信運搬費	253	256	315	115	123.0%				
	負担金	2,374	2,538	2,440	3,149	96.1%				
人件費(人・千円)		15.50	119,850	15.25	115,800	14.75	112,950	14.50	109,200	96.7%
内訳	正職員	15.25	118,950	14.50	113,100	14.25	111,150	14.25	108,300	98.3%
	再任用短時間勤務職員	0.25	900	0.75	2,700	0.50	1,800	0.25	900	66.7%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支 出 合 計 A		123,272	119,390	119,402	114,533	100.0%				
財源	国・府支出金	1,174	1,257	1,208	1,283	96.1%				
	地方債	0	0	0		-				
	その他財源	0	0	2,937		-				
	うち受益者負担 B	0	0	0		-				
	一般財源 C	122,098	118,133	115,221	113,250	97.5%				
一般財源比率 C÷A		99.0%	98.9%	96.5%	98.9%	97.5%				
受益者負担率 B÷A						-				
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容	受益者負担がないため									

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	消防組織法第6条により市が行う事業のため

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	出動回数	件	479	496	557	—	—
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		消防活動の強化及び安全管理の徹底のため、資器材及び個人装備の新規購入・更新を計画的に実施できた。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	消防活動の強化及び安全管理の徹底のため、資器材及び個人装備の新規購入・更新を効率的に実施できたが、財政状況から鑑み、きめ細かな更新計画を考慮する必要がある。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	消耗品費において、現場外套更新計画を20着から3着に変更した。	
現在抱える課題とその対策	課 題	消防隊員の安全管理、公務災害防止の徹底。
	対 策	消防隊員の安全管理上、個人装備の更新は必要となるため、きめ細かな更新計画に基づき実施する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	消防活動の強化及び安全管理の徹底のため、資器材及び個人装備の新規購入・更新が必要であるが、財政状況から鑑み、更新計画をよりきめ細かなものに再考する予定。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	消防署第1中隊		担当課長名	宮本純二
(※)第1期実施計画の事業名	救助活動事業		財務会計上の事業名	救助活動事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3021	5	財務会計上の短縮番号	5480
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第2節消防・救急救助体制の強化		
	項目	項目1消防体制の充実・強化・広域化		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	救助業務の多様化や、社会情勢の変化に対応できる救助体制の充実に努める。
事業の対象(誰を、何を)	救助隊
事業の手段・方法(どのように)	救助活動の基本となる救助資機材や救助隊員の個人装備を充実する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	消防組織法6、8条・消防法第36条の2

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25
事業費(千円)		614	782	1,152	878	147.3%
主な内訳	消耗品費	370	196	426	295	217.3%
	手数料	140	456	545	390	119.5%
	負担金	56	58	114	138	196.6%
人件費(人・千円)		13.25 103,350	12.75 99,450	13.00 101,400	13.00 98,800	102.0%
内訳	正職員	13.25 103,350	12.75 99,450	13.00 101,400	13.00 98,800	102.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
アルバイト		0	0	0	0	-
支出合計 A		103,964	100,232	102,552	99,678	102.3%
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他財源					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C		103,964	100,232	102,552	99,678	102.3%
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		受益者負担がないため				

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	消防組織法(第6条)により、市が当該市の区域における消防を十分に果たすべき責任を有しているため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H27)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	救助出動	回	100	112	88	100	—
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		救助資機材、及び救助隊員の個人装備を定期的に更新し、救助体制の充実に努めているため						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(本格的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(本格的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	活動指標である救助出動を確保するため、救助資機材、及び救助隊員の個人装備を定期的に更新し、一定の効果が得られている。効率性においても事業費の大幅な増加もなく推移している。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成26年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	救助活動の基本となる救助資機材や救助隊員の個人装備を充実する。	
現在抱える課題とその対策	課 題	救助隊員の安全管理
	対 策	救助隊員の安全を確保するため個人装備の充実を図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	救助活動の基本となる救助資機材や救助隊員の個人装備を充実することで、救助業務の多様化や、社会情勢の変化に対応した救助体制を図り、消防力を強化し、市民の安全、安心に努める。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	消防署 第3中隊		担当課長名	東浦 康孝
(※)第1期実施計画の事業名	消防団車両管理事業		財務会計上の事業名	消防団車両管理事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3021	6	財務会計上の短縮番号	5565
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第2節消防・救急救助体制の強化		
	項目	項目1消防体制の充実・強化・広域化		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	火災等災害に対する迅速な対応
事業の対象(誰を、何を)	消防団消防自動車
事業の手段・方法(どのように)	消防団消防自動車の維持管理
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	消防組織法第6条

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		1,049		924		1,668		1,803		180.5%
主な内訳	燃料費	114		108		260		245		240.7%
	修繕費	647		513		615		673		119.9%
	機械器具費	42		114		211		323		185.1%
人件費(人・千円)		6.25	47,700	7.50	55,350	7.25	54,450	7.00	52,200	96.7%
内訳	正職員	6.00	46,800	6.75	52,650	6.75	52,650	6.75	51,300	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0.25	900	0.75	2,700	0.50	1,800	0.25	900	66.7%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		48,749		56,274		56,118		54,003		99.7%
財源	国・府支出金	0		0		0		0		-
	地方債	0		0		0		0		-
	その他財源	0		0		0		0		-
	うち受益者負担 B	0		0		0		0		-
	一般財源 C	48,749		56,274		56,118		54,003		99.7%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		受益者負担がないため								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	消防組織法第6条により市が行う事業のため

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値(H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指標値	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	消防団車両の維持管理	台	8	8	8	8	8
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		火災等災害に対する迅速な対応のための消防団車両の維持管理ができた。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	火災等災害に対する迅速な対応のため、消防団車両の維持管理が効率的にできているが、車両の維持管理費の増加が見込まれるため、日常管理の徹底による費用の抑制を考慮する。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	車両の維持管理費の増加が見込まれるが、より細やかな日常管理の徹底により費用の抑制につなげる。	
現在抱える課題とその対策	課 題	車両の維持管理費の増加が見込まれる。
	対 策	日常管理の徹底により、費用の抑制につなげる。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	車両の維持管理費の増加が見込まれるが、より細やかな日常管理の徹底により費用の抑制につなげる。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	消防本部 警防課		担当課長名	源 克己
(※)第1期実施計画の事業名	消防車両等整備事業		財務会計上の事業名	消防車両等整備事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3021	8	財務会計上の短縮番号	5617
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第2節消防・救急救助体制の強化		
	項目	項目3救急体制の充実と救急需要への対応		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	火災等災害に対する迅速な対応及び救急需要における病院前救護体制の充実・強化
事業の対象(誰を、何を)	消防車両、消防資機材、救急救命用資機材の更新整備
事業の手段・方法(どのように)	消防車両、高規格救急車の更新整備及び消防活動の基本となる資機材の充実強化
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	消防法第1条、消防組織法第6条、消防力の整備指針

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25				
事業費(千円)		162,015		39,137	29,000	-				
主な内訳	機械器具費			13,832	9,650	-				
	自動車購入費	162,015		25,305	19,350	-				
人件費(人・千円)		1.50	11,700	0.00	0	3.00	23,400	2.25	17,100	-
内訳	正職員	1.50	11,700	0	0	3.00	23,400	2.25	17,100	-
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		173,715	0	62,537	46,100	-				
財源	国・府支出金				11,972	-				
	地方債	117,100		23,200	10,700	-				
	その他財源	1,450		9,557	1,100	-				
	うち受益者負担 B					-				
	一般財源 C	55,165		29,780	22,328	-				
一般財源比率 C÷A		31.8%		47.6%	48.4%	-				
受益者負担率 B÷A						-				
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	市町村の消防責任の履行

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指 標 値		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	車両更新台数	台	2	-	1	1	-
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	火災件数(年中)	数	23	21	21	-	-
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	救急件数(年中)	数	5,187	5,328	5,263	-	-
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	その他(年中)	数	556	587	630	-	-
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		現有消防力の確保と市町村の消防責任の履行ができたため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		現有消防力の維持と救急需要の増加とニーズに応じた病院前救護体制の充実・強化と災害に対する迅速・的確な対応を行なうことが出来たため						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成24年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	Nox・PM法の不適合車両の更新は完了し、車両の装備についても充実した。
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	消防法第1条に規定する消防の目的の遂行と市民の安心・安全の確保
現在抱える課題とその対策	課 題 救急需要の増加による救急車、救命資機材の短期間の老朽化と消防車両等の更新時期 対 策 使用頻度、修理状況を見極めながら、更新計画、更新順位を検討
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	安定した消防力の維持と迅速・的確な病院前救護体制の維持・継続

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	消防本部 警防課		担当課長名	源 克己
(※)第1期実施計画の事業名	消防団車両等整備事業		財務会計上の事業名	消防団車両等整備事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3021	9	財務会計上の短縮番号	5619
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第2節消防・救急救助体制の強化		
	項目	項目1消防体制の充実・強化・広域化		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	火災等災害に対する迅速対応・充実強化
事業の対象(誰を、何を)	消防団車両、消防資機材の更新・整備
事業の手段・方法(どのように)	消防自動車の更新整備及び消防活動の基本となる資機材の充実強化
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	消防法第1条、消防組織法第6条、消防力の整備指針

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		16,380		16,380		1,467		0		9.0%
主な内訳	自動車購入費	16,380		16,380						0.0%
	機械器具費					1,467				-
人件費(人・千円)		1.50	11,700	2.00	15,600	0.75	5,850	0.75	5,700	37.5%
内訳	正職員	1.50	11,700	2.00	15,600	0.75	5,850	0.75	5,700	37.5%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		28,080		31,980		7,317		5,700		22.9%
財源	国・府支出金									-
	地方債	13,800		15,000						0.0%
	その他財源			1,100		1,467				133.4%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	14,280		15,880		5,850		5,700		36.8%
一般財源比率 C÷A		50.9%		49.7%		80.0%		100.0%		161.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	市町村の消防責任の履行

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	災害対応(活動実績)	出動等(回)	371回	319回	360回	-	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		消防資機材の充実強化により、迅速な災害対応につなげることができたため						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	地域の防災等を担い、地域住民の安心・安全に尽力、迅速な災害活動の実施につなげることができているため						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成24年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	Nox・Pm法の不適合車両の更新、車両の装備については7分団統一できたため更新計画を変更。	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	現有消防力の維持	
現在抱える課題とその対策	課 題	災害に備えた資機材の充実と今後老朽化していく車両、資機材の整備・更新。
	対 策	車両、資機材の使用頻度、修理状況等を見極め、老朽化した車両等を計画的に順次更新。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	迅速・安全な消防団活動が行なえるように車両、資機材の使用頻度、修理状況等を見極め、老朽化した車両等を計画的に順次更新	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	消防署		担当課長名	赤池 利光
(※)第1期実施計画の事業名	消防救急デジタル無線整備事業		財務会計上の事業名	消防救急デジタル無線整備事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3021	11	財務会計上の短縮番号	5625
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第2節消防・救急救助体制の強化		
	項目	項目1消防体制の充実・強化・広域化		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	消防救急無線のデジタル化
事業の対象(誰を、何を)	消防救急デジタル無線
事業の手段・方法(どのように)	消防救急アナログ無線をデジタル無線に整備し運用する
実施期間	<input type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 時限(平成23年度～平成26年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	電波法第26条

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		0		0		237,600		0		-
主な内訳	委託料					237,600				-
	人件費(人・千円)	0.95	7,410	0.80	6,240	0.85	6,630	0.00	0	106.3%
	内訳									
	正職員	0.95	7,410	0.80	6,240	0.85	6,630	0.00	0	106.3%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		7,410		6,240		244,230		0		3913.9%
財源	国・府支出金									-
	地方債					237,600				-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C		0		6,240		6,630		0	106.3%
一般財源比率 C÷A				100.0%		2.7%				2.7%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	消防組織法第6条(市町村の消防に関する責任)

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	指令業務共同運用検討委員会	回	3	3	8	0	-
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	指令業務共同運用作業部会	回	4	26	50	0	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		豊中市との指令業務共同運用に伴うシステム整備と合わせ、平成27年3月9日消防救急デジタル無線の運用を開始した						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	指令業務共同運用作業部会で、機器の仕様、性能等を入念に検討し、指令業務共同運用検討委員会で報告した後、整備した。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	消防救急デジタル無線の整備は、平成26年度で終了したが、27年度以降は無線機器の修繕料、バッテリー等の消耗品費、無線免許更新手数料等は、通信機器管理事業に移行する。
現在抱える課題とその対策	課題 消防救急デジタル無線機器の保守管理費用の発生 対策 豊中市との指令業務共同運用に合わせ、保守体制、保守機器を共同で検討し、保守費用を削減する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	平成27年度は、無線機器等の保守費用は瑕疵担保責任があり発生しないが、28年度以降、豊中市との指令業務共同運用運営費負担金に保守管理費用が発生するため。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	消防本部予防課		担当課長名	杉本 二三男	
(※)第1期実施計画の事業名	予防活動事業		財務会計上の事業名	予防活動事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3022	1	財務会計上の短縮番号	5485	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第2節消防・救急救助体制の強化			
	項目	項目2高齢者世帯を中心とした住宅防火対策			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	市民生活の安全性の向上が図られる		
事業の対象(誰を、何を)	市民		
事業の手段・方法(どのように)	防火対象物、危険物施設及び保安3法施設の立入検査、高齢者宅等の住宅防火診断及び住宅用火災警報器の設置促進を実施する。		
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～)		<input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度		<input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度
※根拠法とその条項	消防法第1条、第4条、第8条、第16条の5、火薬類取締法第45条の37、高圧ガス保安法第62条、液化石油ガスの保安に関する法律第83条		

2 事業費等

区分	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	H26/H25					
事業費(千円)	250	168	170	194	101.2%					
主な内訳	消耗品費	245	167	169	190	101.2%				
	負担金	5	1	1	4	100.0%				
人件費(人・千円)	7.00	54,600	4.00	31,200	7.00	46,200	7.00	43,300	175.0%	
内訳	正職員	7.00	54,600	4.00	31,200	5.00	39,000	5.00	38,000	125.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0	2.00	7,200	1.00	3,600	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
アルバイト		0		0	1.00	1,700			-	
支出合計 A	54,850	31,368	46,370	43,494	147.8%					
財源	国・府支出金	250	168	170	194	101.2%				
	地方債					-				
	その他財源					-				
	うち受益者負担 B					-				
	一般財源 C	54,600	31,200	46,200	43,300	148.1%				
一般財源比率 C÷A	99.5%	99.5%	99.6%	99.6%	100.2%					
受益者負担率 B÷A					-					
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済	<input type="checkbox"/> 2 一部導入済	<input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減	<input type="checkbox"/> サービス向上	<input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容			
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 不可能	
可能な場合:導入可能な業務	防火管理者講習会		
見込まれる効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減	<input type="checkbox"/> サービス向上	<input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	委託により上記の効果は見込まれるものの、職員自らが講師を行うことで経験、スキルアップ等の効果が望まれると共に、地域特性に即した講義内容が実施可能であることから、従来どおりの運用が好ましいと見做す。		
不可能の場合:選択の理由			

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(予定)	目標値(H26)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	査察(防火対象物)	回	452	309	410	600	600
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	査察(危険物・保安3法)	回	167	139	116	250	250
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	防火管理者講習会	回	1	1	1	1	1
	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	住宅防火診断(訪問診断)	回	12	10	12	40	40
	☆ <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	住宅用火災警報器設置率	%	70	77	76	83	100
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		国・府からの各種照会の増加や保安3法権限委譲に伴う事務量の増加が考えられる。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	査察に関して、目標値を下げることなく、新しい手法を検討し導入することで目標値へ近づくものと思料。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持
上記の内容	<input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
現在抱える課題とその対策	課題	住宅用火災警報器の設置義務化から10年を向かえ、機器の一部老朽化が問題となっている。
	対策	各種講習会、イベント等で設置の啓発活動を行ってきたが、今年度より既存機器の維持管理に重点を置いた啓発活動を実施していく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	事務量の増加により成果指標は横ばいではあるが、市民の安心・安全を守る意味でも各事業は継続していく必要がある。しかしながら、事務効率の向上を図るとともに、市内防火対象物の防火管理者選任率の向上や引き続き住宅用火災警報器設置率の向上のため、プラスワンのアイデアと市民等への広報活動の強化が必要と思料。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	消防署 第2中隊	担当課長名	村越 勝
(※)第1期実施計画の事業名	救急活動事業	財務会計上の事業名	救急活動事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3023 1	財務会計上の短縮番号	5475
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第2節消防・救急救助体制の強化	
	項目	項目3救急体制の充実と救急需要への対応	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	救急業務の進展に即した教育訓練の推進、救命率の向上を図る
事業の対象(誰を、何を)	市民
事業の手段・方法(どのように)	市民に対する応急手当の習得普及に努める、救急活動の実施、救急救命士の養成、メディカルコントロール体制の整備
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	消防法第35条の5

2 事業費等

区分	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	H26/H25	
事業費(千円)	8,125	12,205	10,732	9,368	87.9%	
主な内訳	消耗品費	2,189	1,508	1,270	1,300	84.2%
	医薬材料費	966	1,194	1,385	1,056	116.0%
	負担金	2,568	3,127	5,077	4,232	162.4%
人件費(人・千円)	19.25 150,150	18.75 146,250	19.00 148,200	22.00 167,200	101.3%	
内訳	正職員	19.25 150,150	18.75 146,250	19.00 148,200	22.00 167,200	101.3%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
アルバイト	0	0	0	0	-	
支出合計 A	158,275	158,455	158,932	176,568	100.3%	
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他財源	1,725	1,734	1,652	1,651	95.3%
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	156,550	156,721	157,280	174,917	100.4%	
一般財源比率 C÷A	98.9%	98.9%	99.0%	99.1%	100.1%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容	受益者負担がないため					

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	救急業務は、消防法に規定されているが、救命講習は応急手当普及員でも実施可能。
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	応急手当普及員による救命講習が増えることにより、講習の一部に係る事務負担の軽減ができる。また、数多く開催することにより、応急手当の普及拡大につながる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(予定)	目標値(H26)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	出場回数	回	5,165	5,310	5,271	5,419	5,310
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	救命講習	回	74	95	82	89	103
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	救命入門コース	回	10	17	11	16	21
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	救命講習	人	728	873	848	920	947
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	救命入門コース	人	908	1635	745	1084	2020
成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	救命講習回数、救命入門コース回数ともに減少しているため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(本格的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(本格的な見直しが必要)						
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	出場回数は減少しており、救急車の適正利用の広報が一定の成果を得られている。救命講習の減少については、普及員の習熟度が上がり、例年は複数回に分けていた受講生を1回の講習会でまとめられたためと考える。救命入門コースは学校側との調整が難しいのが現状である。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	出場回数については一定の成果は得られてはいるが、救命講習と救命入門コースについては、広報及び普及員の更なる育成、学校側との調整をし、拡充を図る。	
現在抱える課題とその対策	課題	学校内のカリキュラムとの調整が難しいなど、救命入門コースの回数が減少
	対策	就学中の早期から救命講習を体験することは、技術だけでなく、命の大切さや思いやりを重んじる気持ちを学ぶ機会となることを学校側に改めて理解を求め、より多くの開催を目指す。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	高齢化の進展等により、今後も救急出場件数の増加は考えられるため、救急資器材の確保整備は引き続き重要。応急手当普及員との連携による救命講習の更なる啓発と、救命入門コースにより多くの理解を求めることにより、応急手当のすそを広げ、救命率向上の一手とする。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	消防本部総務課		担当課長名	大西 文夫	
(※)第1期実施計画の事業名	消防団運営事業		財務会計上の事業名	消防団運営事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3024	1	財務会計上の短縮番号	5570	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第2節消防・救急救助体制の強化			
	項目	項目4地域防災力の向上			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	災害時に初動対応ができるよう地域防災力を向上させ、消防団員の公務災害補償及び退職報償金等の支給をする。
事業の対象(誰を、何を)	消防団員
事業の手段・方法(どのように)	消防団員の教育訓練実施、及び消防団員(実員)の確保並びに各種負担金の支出。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	消防組織法第6条(市町村の消防に関する責任)・第24条(非常勤消防団員に対する公務災害補償)・第25条(非常勤消防団員に対する退職報償金)

2 事業費等

区分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		14,091		9,214		10,666		16,697		115.8%
主な内訳	報償金	7,513		2,855		2,314		8,712		81.1%
	消耗品費	574		492		2,446		2,202		497.2%
	負担金	5,698		5,607		5,616		5,617		100.2%
人件費(人・千円)		1.95	15,210	1.65	12,870	1.65	12,870	1.40	9,040	100.0%
内訳	正職員	1.95	15,210	1.65	12,870	1.65	12,870	1.00	7,600	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0	0.40	1,440	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		29,301		22,084		23,536		25,737		106.6%
財源	国・府支出金					250				-
	地方債									-
	その他財源	6,946		2,326		1,785		8,116		76.7%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	22,355		19,758		21,501		17,621		108.8%
一般財源比率 C÷A		76.3%		89.5%		91.4%		68.5%		102.1%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	消防組織法第6条(市町村の消防に関する責任)

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	消防団員数(実員)	人	175	176	178	178	180
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	教育訓練	回	289	261	265	240	240
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	公務災害件数	回	0	0	0	0	0
	☆ <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	団員加入率(定員180名)	%	97	98	99	99	100
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	入団者数	人	10	20	10	2	-
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		消防団員数については、目標とする定員180名には届かなかったものの、充足率は全国平均の93%を大きく上回る99%であり、また教育訓練を行い、公務災害の発生も無いことから、目標達成できたものと考えます。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	退団者数については、各分団が若返りを図る上で、各年10名前後の退団があるもの。平成26年度は、消防団の任期満了年度の前年であり、各分団が現状維持に近い状態で地域防災の維持に努め、平成27年度については、任期満了年度であり、抜本的な変革及び若返りを図る予定。消防団装備にあつては、平成26年度に個人装備の充実を図り、今後も計画的に個人装備を中心に充実を図るもの。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	退団者については、任期満了年であることから増加する予定であるが、装備購入にあつては、現状の予算内で充実を図る予定。	
現在抱える課題とその対策	課題	退団者が増加するに伴い、入団者の確保が必要となってくるもの。
	対策	退団を予定している分団には、早期に入団者の確保をお願いし、各地域の自治会等に働きかけを行うもの。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	消防団員の確保にあつては、概ね確保できている状況であることから、現在の推移を保ちつつ、質の高い教育訓練に取り組み、公務災害の発生をゼロとすること。また、装備については、当面個人装備の充実を図り、団員の安全管理に努めるもの。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	消防本部総務課		担当課長名	大西 文夫
(※)第1期実施計画の事業名	消防団施設管理事業		財務会計上の事業名	消防団施設管理事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3024	2	財務会計上の短縮番号	5560
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第2節消防・救急救助体制の強化		
	項目	項目4地域防災力の向上		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	災害拠点の維持管理
事業の対象(誰を、何を)	消防団施設(7分団)
事業の手段・方法(どのように)	消防団施設の維持管理
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	消防組織法第6条(市長村の消防に対する責任)

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25		
事業費(千円)		637	663	559	975	84.3%		
主な内訳	光熱水費	292	267	272	291	101.9%		
	修繕料	83	136	17	400	12.5%		
	通信運搬費	201	201	206	215	102.5%		
人件費(人・千円)		1.50	11,700	1.25	9,750	1.10	7,360	100.0%
内訳	正職員	1.50	11,700	1.25	9,750	0.85	6,460	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0	0	0	0.25	900	-
	任期付職員(フルタイム)		0	0	0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0	0	0		0	-
	非常勤職員		0	0	0		0	-
	アルバイト		0	0	0		0	-
支出合計 A		12,337	10,413	10,309	8,335	99.0%		
財源	国・府支出金							-
	地方債							-
	その他財源							-
	うち受益者負担 B							-
	一般財源 C	12,337	10,413	10,309	8,335	99.0%		
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
受益者負担率 B÷A						-		
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し						
上記の内容								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	消防組織法第6条(市長村の消防に対する責任)

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
☆	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	消防団施設の維持管理	ヶ所	7	7	7	7	7
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		災害拠点としての維持管理が出来ているもの。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	消防団施設である維持管理については、建物が年々老朽化することにより、維持管理コストが上昇することが考えられることから、施設の建て替え等も考慮する必要がある。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成26年度の施設点検において、1施設の修繕指摘があったため、増額となったもの。	
現在抱える課題とその対策	課 題	建物の老朽化が進むにつれ、修繕が増加する。
	対 策	継続的に、修繕を行うもの。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	今後も、施設修繕が発生する見込みであり、災害拠点となる消防団施設を継続的に修繕するものである。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	消防本部総務課		担当課長名	大西文夫	
(※)第1期実施計画の事業名	出初式開催事業		財務会計上の事業名	出初式開催事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3024	3	財務会計上の短縮番号	5490	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第2節消防・救急救助体制の強化			
	項目	項目4地域防災力の向上			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	地域防災力を向上させる
事業の対象(誰を、何を)	消防職員、消防団員、及び自衛消防隊
事業の手段・方法(どのように)	消防出初式の開催
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		109		117		107		126		91.5%
主な内訳	会場設営委託料	100		100		100		103		100.0%
	原材料費	6		14		0		20		0.0%
	消耗品費	3		3		7		3		233.3%
人件費(人・千円)		0.60	4,680	0.60	4,680	1.05	8,190	0.90	6,440	175.0%
内訳	正職員	0.60	4,680	0.60	4,680	1.05	8,190	0.80	6,080	175.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0	0.10	360	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		4,789		4,797		8,297		6,566		173.0%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	4,789		4,797		8,297		6,566		173.0%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他()
上記の内容	会場設営業務
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	専門職種であるため

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
☆	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	消防出初式の開催	回	1	1	1	1	1
			消防職員の士気高揚	人	103	97	99	98	99
			消防団員の士気高揚	人	175	176	174	180	180
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		地域防災力(消防職員、団員の士気)が向上している。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)								

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	一定の成果を得られており、平成27年度も同内容を継続して実施する。
現在抱える課題とその対策	課 題: 会場設営機材の老朽化 対 策: 職員が補修することによりコストを削減する
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	消防出初式の開催を通じて、市民に防火防災をアピールするとともに、消防職員、団員の士気を向上させ、成果として地域防災力を向上させる。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	消防本部総務課		担当課長名	大西 文夫	
(※)第1期実施計画の事業名	消防協会補助事業		財務会計上の事業名	消防協会補助事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3024	4	財務会計上の短縮番号	5495	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第2節消防・救急救助体制の強化			
	項目	項目4地域防災力の向上			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	火災予防思想の普及を図り、地域防災力を高める。
事業の対象(誰を、何を)	消防協会
事業の手段・方法(どのように)	消防協会に補助金を支出することにより、市民に対し防火啓発等に努めるもの。
実施期間	<input type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成27年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市消防協会補助金要綱

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		100		100		100		100		100.0%
主な内訳	補助金	100		100		100		100		100.0%
										-
										-
人件費(人・千円)		1.20	9,360	1.05	8,190	1.05	8,190	1.00	6,600	100.0%
内訳	正職員	1.20	9,360	1.05	8,190	1.05	8,190	0.75	5,700	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0	0.25	900	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		9,460		8,290		8,290		6,700		100.0%
財源	国・府支出金					250				-
	地方債									-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	9,460		8,290		8,290		6,700		100.0%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	池田市消防協会を対象とした、補助金事業であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	防火作品(図画・習字)展示・表彰	回	1	1	1	1	1
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	消防だより、防火カレンダー作成・配布	回	1	1	1	1	1
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	歳末街頭宣伝	回	0	1	1	1	1
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	体験フェア「消防署にあつまれ～」	回	1	1	1	1	1
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果		人					
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		順調に目標を達成し、若年層を含めた火災予防思想の普及に努めている。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	目的達成のため効率的に実施できているが、平成26年度の事務事業評価において、平成27年度を最後に事業廃止決定されたものである。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 22年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	平成21年度から平成22年度にかけて、減額の見直しがあり、平成27年度をもって、事業終了となる。
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	前年度と同様、若年層を含めた火災予防思想の普及に努め、地域防災力の向上を図るもの。
現在抱える課題とその対策	課 題 幅広い年齢層に火災予防思想の普及 対 策 池田市消防協会と連携し幅広い年齢層をターゲットとした活動を行うもの。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	平成26年度事務事業評価において廃止決定がなされたもの。